

都江堰

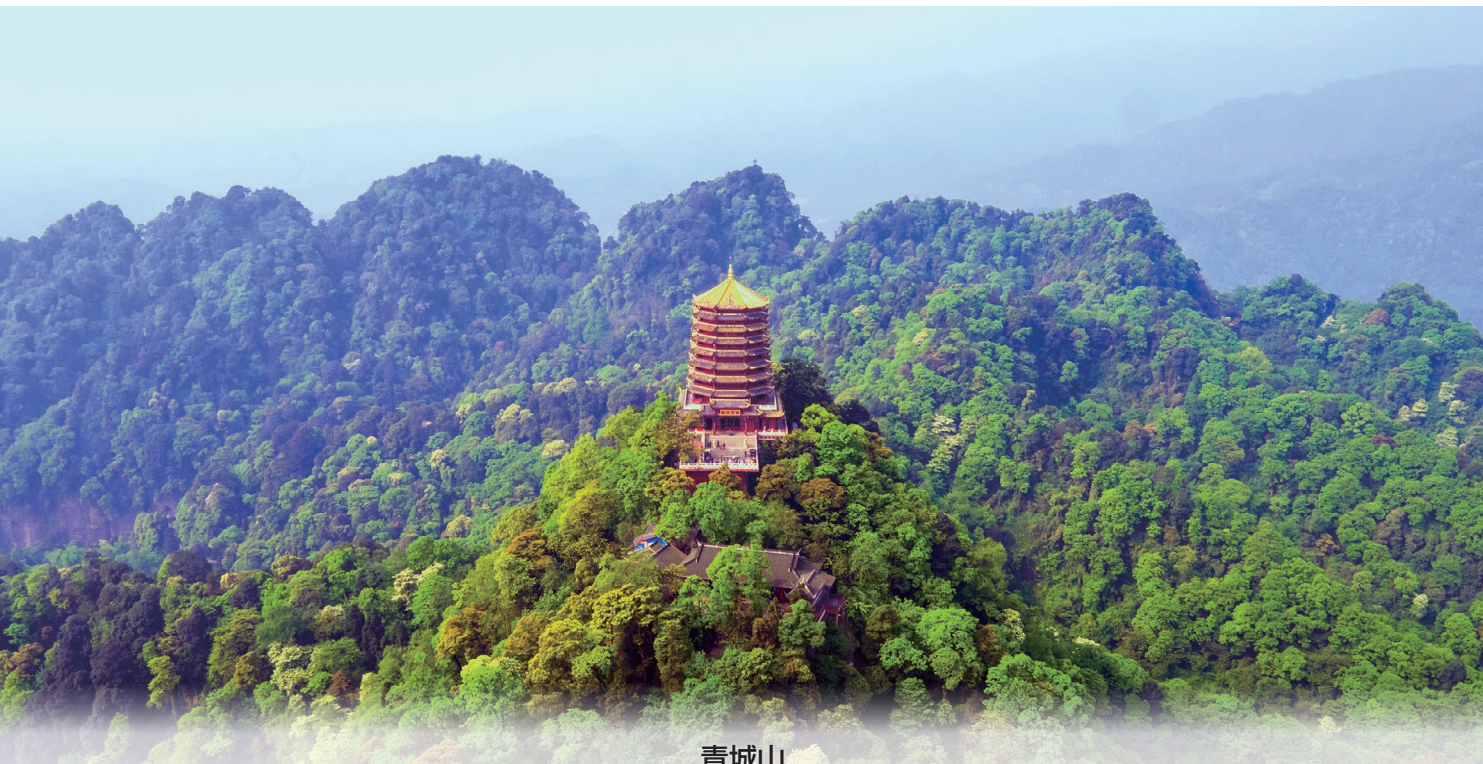
都江堰は四川省成都平原の北西部に位置し、成都市中心部から39km、成都双流国際空港から62kmの距離にある水利・灌漑施設です。成都市の「30分経済圏」の中にあり、有名な都江堰水利工事^(※)からその名がつけられました。都江堰が位置する都江堰市の面積は1,208km²、平均気温が15.2℃と涼しく、森林保有率は60%で、人口約80万人を抱えています。今年最も人気な景勝地は「青い涙」と呼ばれる川の流れです。南橋という歴史ある栈橋がにぎわい金色に輝く様子と、青く光る川の流れが織りなす幻想的な光景は、毎晩数千人を楽しませています。

(※) 紀元前3世紀頃に行われた古代水利工事。都江堰は当時水不足に苦しんでいた成都平原を「天府の国」と呼ばれる大穀倉地帯に変え、今もなお農地の灌漑に活用される古代水利施設となっている。2000年には青城山とともにユネスコの世界文化遺産に登録された。



世界の地域から

中国四川省成都市都江堰・青城山（中国）



青城山

都江堰市の有名な景勝地の一つに青城山があります。中国の伝統宗教といわれる道教の発祥地の一つである青城山は、1800年前の後漢の時代に道教の創始者である張陵によって創立されたといわれています。「天一の幽」とも呼ばれ、中国四大道教名山の一つに数えられています。頂上には「老君閣」と呼ばれる建物があり、中には道教の仙人「太上老君」の像が納められています。